

平成13年10月教育長定例記者会見資料

事項	内容	備考
<p>高校生に対する就職支援について</p>	<p>1 現状</p> <p>(1) 平成14年3月高校卒業予定者の就職希望状況と内定状況について(9月末現在 茨城労働局調査)</p> <p>ア 来春の高校卒業予定者のうち、求職者数は男女計6,092人で、ほぼ昨年と同数である。求人数については7,148人で昨年と比べて16.6%減少している。県内で11.6%、県外で22.7%減少している。</p> <p>イ 県内求人倍率は、0.68倍で昨年と比べて0.1倍低く、県外を含めても1.17倍(昨年1.42倍)と過去最低である。また、県内の求人倍率の伸びについて、7月(0.51倍)と9月(0.68倍)を比較してみると、わずかに0.17倍の伸びにとどまり、昨年の0.25倍の伸びに比べても、事業所が新規求人を手控えている状況がうかがえる。</p> <p>ウ 9月末の就職内定率は33.0%で、昨年同時期に比べて10ポイント低い。過去最低の就職内定率(3月末87.1%)であった平成11年度の9月末の内定率が40.7%であることから、求人がそのまま推移すれば、3月末の内定率は平成11年度を大きく下回ると予測される。</p> <p>(2) 求人数減少の要因</p> <p>ア 厳しい経済状況(経済の低迷が長期化し、企業が新規求人を手控えている。リストラ等により労働市場が縮小している。)</p> <p>イ 高卒労働市場の縮小(高卒者がかつて占めていた職場へ、大学・短大等の卒業者が進出してきた。)</p> <p>ウ 即戦力志向(厳しい経済状況の中、企業に人材育成に懸ける余力がなくなり、人材派遣などにより即戦力を求めている。)</p> <p>2 県教委における今年度の取組</p> <p>(1) 求人要請訪問</p> <p>ア 教育長による求人要請訪問を経済4団体に対して4回実施(6/4, 9/10, 12/3, 2月)</p> <p>イ 9/10には、県校長協会進路指導委員会副委員長、県高等学校教育研究会進路指導部部長が同行した。</p> <p>ウ 求人要請文を県産業教育振興会加盟の372事業所へ3回送付(6月, 9月, 12月)</p> <p>ウ 求人要請訪問週間を設置(6月4日~8日, 12月3日~7日)</p> <p>学校長, 進路指導主事, 県教委指導主事が36事業所を訪問して求人要請。(6月)</p> <p>(2) 進路指導主事会議等の開催</p> <p>ア 県労働政策課, 県職業能力開発課, 茨城労働局職業安定課, 茨城労働局雇用均等室の協力を得て開催。(5月)</p> <p>イ 県高等学校教育研究会進路指導部と連携協力して開催。(11月)</p> <p>(3) 普通科における職業教育推進事業(指定校:10校 期間:平成12年度から平成14年度までの3年間[本年度は2年次])</p> <p>ア 目的 普通科に学ぶ生徒の望ましい勤労観や職業観の育成のために、就業体験等の支援を行う。</p> <p>イ 概要 就業体験(インターンシップ)の実施, 進路講演会等の開催, 各種講座の開設(コンピュータ講座等)</p> <p>(4) インターンシップの推進</p> <p>ア 目的 望ましい職業観, 勤労観を育成し, 主体的な職業選択能力や高い職業意識の育成を促進する。</p> <p>イ 概要 実施学校数 47校(平成13年度から新たに実施:5校)</p> <p>主な受入れ先 製造会社, 建設会社, 農家, デパート, 保育所, 病院, 福祉施設</p> <p>⑨ウ 学校と企業等との相互交流推進協議会の開催(8/23, 11/22)</p> <p>学校と企業等の代表者が, インターンシップ実施上の課題, 問題点について協議。</p> <p>(5) 合同就職面接会を開催</p> <p>ア 目的 求人企業と就職を希望する生徒が直接に面談する機会を提供し, 就職内定につなげる。</p> <p>⑨イウエオ 共催 茨城県教育委員会が, 茨城労働局, 公共職業安定所と共催で実施する。</p> <p>概要 茨城労働局, 公共職業安定所と連携・協力して, 県内各地区で合同就職面接会を開催する。</p> <p>時期 平成14年1月~2月</p> <p>開催地 県北(日立), 鹿行(鹿島), ⑨ 県南(石岡[予定]), 県西(下館)(古河)</p> <p>⑨(6) 高校生就職支援事業(補正予算による新規事業)</p> <p>ア 目的 平成14年3月県立高等学校卒業生の就職内定率の向上を目指し, 新たな求人の開拓に努める。</p> <p>イ 概要 教育庁内に配置した高校生就職支援相談員が, 事業所を訪問して求人開拓し, 求人情報を学校に提供する。</p> <p>ウ 人数 5人(高校生就職支援相談員)</p> <p>エ 期間 平成13年11月から平成14年3月まで</p>	<p>高校教育課 指導担当(内線5260)</p> <p>合同就職面接会 未内定者と求人企業との面接会を開催し, その場で内定する場合と後日筆記試験を実施する場合がある。 [平成12年度実績(公共職業安定所主催)]</p> <p style="text-align: right;">即日内定数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県北(1/17)サビア日立 11人 ・鹿行(1/26)カマホ-カマホ 49人 ・下館(1/18)三の丸カホ 4人 ・古河(2/15)あすなる会館 4人 <p>高校生就職支援事業</p> <p>1 高校生就職支援相談員</p> <p>(1) 就業内容</p> <p>ア 新規求人開拓</p> <p>イ 合同就職面接会</p> <p>ウ 情報の整理・提供</p> <p>(2) 勤務形態 教育庁高校教育課に配置 (週4日は出張[事業所を訪問])</p> <p>(3) 経歴 ハローワークOB等</p> <p>2 求人情報の処理</p> <p>(1) 事業所から公共職業安定所へ求人票を提出させる。</p> <p>(2) 教育庁高校教育課で集約し, 教育委員会のホームページを通じて, 全県立高等学校に提供する。</p>

求人倍率等の月別推移

		7月	8月	9月	3月
求人倍率	平成14年3月卒業生	0.51	0.58	0.68	
	合計	0.75	0.95	1.17	
平成13年3月卒業生	県内	0.53	0.62	0.78	1.09
	合計	0.82	1.10	1.42	1.78
平成12年3月卒業生	県内	0.66	0.62	0.73	1.08
	合計	1.18	1.14	1.30	1.77
内定率	平成14年3月卒業生			33.0	
	平成13年3月卒業生			43.0	87.9
	平成12年3月卒業生			40.7	87.1
	平成14年3月卒業生対前年比			10.0	